



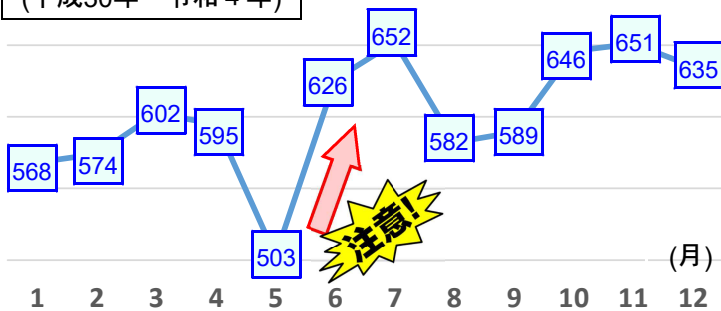
梅雨の時期に事故急増！

雨天時の事故に要注意！！



加古川警察署管内月別人身事故発生件数

(平成30年～令和4年)



加古川警察署管内の過去5年間の人身事故発生件数を見ると天候の良い五月晴れの5月が終わり、梅雨を迎える6月になると発生件数が急増し、7月に最多になっています。

雨の多いこの時期は交通事故に十分注意しましょう。



①「急」のつく動作は厳禁！

『急発進』『急ブレーキ』『急ハンドル』はスリップしやすく事故のもとです！普段よりゆっくり落ち着いた運転操作を心がけましょう。また、雨の降り始めの道路はホコリが浮かび上がり滑りやすく、危険です(マンホール、工事現場の鉄板等も滑りやすいので要注意)。

②「スピード」は控えめに！

雨天時は路面乾燥時よりも停止に必要な距離が長くなります。晴天時よりスピードを控えめにして『車間距離』を十分にとりましょう。

(例)時速40kmで走行する車両の停止距離：(晴)約17.3m⇒(雨)約23.7m ※アスファルト路面



③「自転車」も要注意！

自転車の傘さし運転は見通しを妨げるだけでなく、強風であおられて転倒するおそれもあります。

自転車に乗る時は傘ではなく、『**雨合羽**』を着用しましょう。

